

メッセージ

代表執行役社長
足達 信章2019-2028年度
長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し社会に貢献する
企業グループになる

不断の改善を、 可能とする組織。

4期連続で最高売上高を更新。 「知の融合」によって生まれる、 生産性改善への知恵。

私たち指月電機グループは、長期経営ビジョンの実現に向けて3つのステージから成る中期経営計画を策定し、一歩ずつ挑戦を重ねてまいりました。

第Ⅱ期の最終年度にあたる2024年度の連結売上高は27,346百万円(前年度比4.0%増)となり、4期連続で過去最高を更新する運びとなりました。さらに、営業利益におき

中期経営計画

第Ⅰ期 2019～2021年度

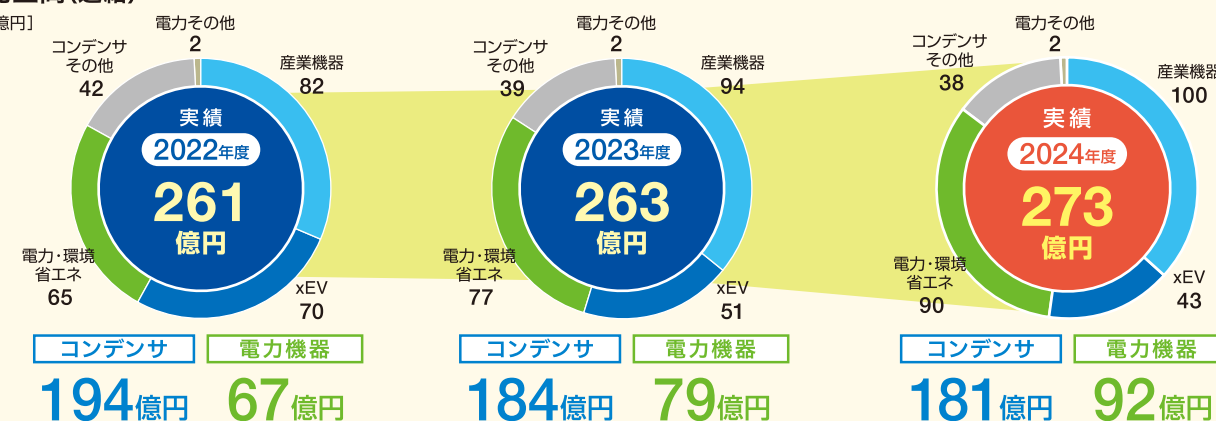
第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

第Ⅱ期には、パワーエレクトロニクスの普及に貢献するため、事業拡大を強力に推進します。
また、エネルギーマネジメントのニーズの高まりを見据え、製品の機能拡張や市場開拓に挑みます。

売上高(連結)

[億円]



ましては前年度比81.2%増となる1,990百万円を計上しました。

営業利益の伸張につながった要因のひとつとして、材料価格やユーティリティコスト、労務費などの上昇を踏まえ、お客さまのご理解と協力を得ながら、価格の適正化を進めてきたことが挙げられます。そして、最も重要なポイントとして、シヅキの経営方針である「JIS(シムス)」の精神に則って、一人ひとりが知恵を出し合いながら「生産性の改善」に努めてきたことが、売上高と営業利益を押し上げる大きな力となってくれたものと考えます。例えば、産業用コンデンサの主力製品においては前年度比でおよそ150%の生産性向上、データセンターの新設などで市場が活況を呈し

ている電力受配電機器においても約130%の向上が見られました。

「JIS(シムス)」とは、目標に対して常に現状を把握し、未達の原因を分析し、不断の改善を可能にする組織の在り方です。グループが一丸となって「知の融合」に取り組むことで、一拠点や一職種の中だけでは生まれ得なかった新たな知恵が次々と生まれ、その成果に触発されるように、また新たな挑戦と改善が生まれていく。そのようにして積み上げてきた活動の成果が、今さまざまな場面で奏功し始めていることへの手応えを感じるとともに、私たちは決して挑戦の姿勢を緩めることなく、新たに策定した第Ⅲ期中期経営計画のもとで、さらなる前進を目指そうとしています。

変革によって、変化に強くなる。

組織の融合度を高め、新たな価値を創出。

「挑戦する社風への変革」という言葉を冠した長期経営ビジョン。その実現に向けて取り組んできた第Ⅰ期・第Ⅱ期は、私たちシヅキにとってまさに挑戦と変革の道のりでした。

運営体制の面では、第Ⅰ期に開発・製造・販売という職域の垣根を越えた「組織横断型」の活動を展開。第Ⅱ期は、「事業部制」へと移行してその融合をさらに進め、各事業部が一丸となってお客さまと向き合うことで顧客志向がより強まるなど、一定の成果が見られました。

しかし、急速に市場のニーズや経済環境が変化する中、一事業部だけでその変化に対応することは今後一層難しくなっていくと予見されます。そこで次のステップとして「事業部間連携」をテーマに掲げ、すでに第Ⅱ期の後半から、事業部同士の力を掛け合わせた共創的なプロジェクトが動き出しています。

例えば、次世代の産業用機器をつくるというプロジェクトでは、市場の動向を見据え、これまでのフレームに囚われずに新しい製品の創造に取り組むことで、既存の事業において

も課題や改善点に気づく目が養われ、従来製品のブラッシュアップにつながるという副次的な効果も生まれています。

個々の能力と、挑戦心を引き出せる環境を。

人材育成・能力強化の面では、東京都立大学の元副学長であり名誉教授である清水敏久氏を技術顧問として招聘。清水氏はパワーエレクトロニクスの分野において非常に著名な方で、技術者の育成に多大な尽力をいただいています。人事処遇の在り方についても制度を刷新し、「挑戦」を制度の面からもきちんと評価できる仕組みを整えることで、一人ひとりの新しいチャレンジをより積極的に後押しできる環境を育もうとしています。

さらに、階層別の研修制度を設けて定着させることで、一人ひとりが継続的に学びと成長を重ねていける土台を築き、それぞれの研修の成果を踏まえながら、人材育成の在り方についても常に最適化を図っていく所存です。

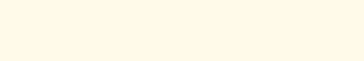
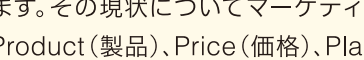
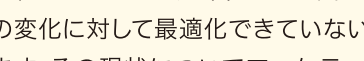
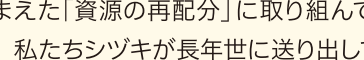
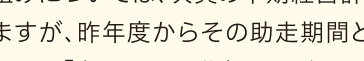
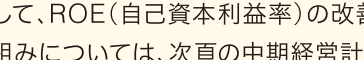
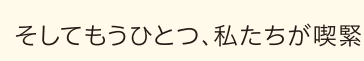
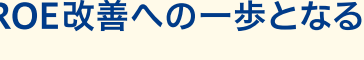
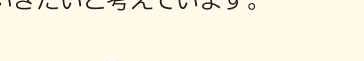
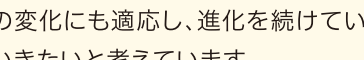
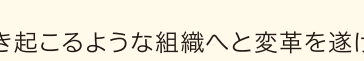
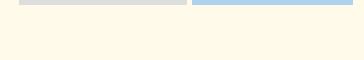
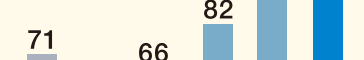
このようにして、全社的な「知の融合」と個々の「能力強化」を併行して進めることで、新しい知恵と挑戦が次々と湧

〈重点事業の売上高実績（連結）〉

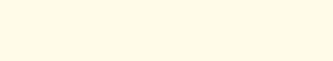
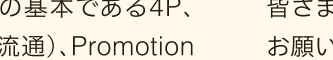
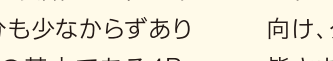
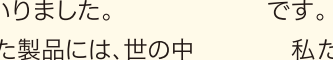
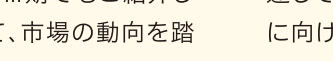
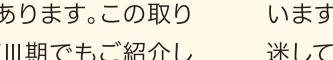
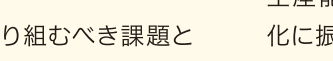
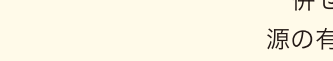
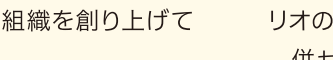
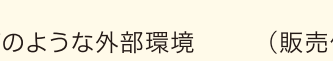
[億円]

コンデンサ・モジュール

産業機器



xEV



電力機器システム

電力・環境省エネ

